

## V-Campus 7<sup>th</sup> 更新

### － p6.サーバ・ストレージ －

#### 1. 概要

V-Campus 7<sup>th</sup>では、IDCの変更により、約200台以上の既存仮想マシンを含めた仮想環境を新しいIDC拠点へ移設する必要があった。

そのため、切替作業のサービス停止時間と離れた拠点間でのデータ同期に十分考慮した提案かを選定時の判断事項とした。

さらに、複数あったストレージをフラッシュストレージへ統合することで全体コストの削減と仮想基盤のパフォーマンス向上を行った。

#### 2. システム更新のポイント

- (1). 新IDCへのシステム移行
- (2). フラッシュストレージへの移行によるパフォーマンス向上
- (3). 仮想基盤の最新化
- (4). 高集積化、データ重複排除技術

#### 3. p6.サーバ・ストレージ更新まとめ

今回の更新で、計画期間内に新IDCへ移設することができた。この副産物として不要な仮想マシンやデータも整理された。

システム全体としてHDDから高速なフラッシュストレージ上に集約されたことで、ストレージが提供する高集積化、データ重複排除を最大限有効活用できるようになったことに加え、ディスクIOの高速化が実現できた。

なお、今回は費用対効果の点より見送りとしたSaaSやPaaSへの移行も、コロナ渦によりオンラインサービス拡充も考慮し、一部サービスの先行移行も検討しつつ安定稼働に努めていく。

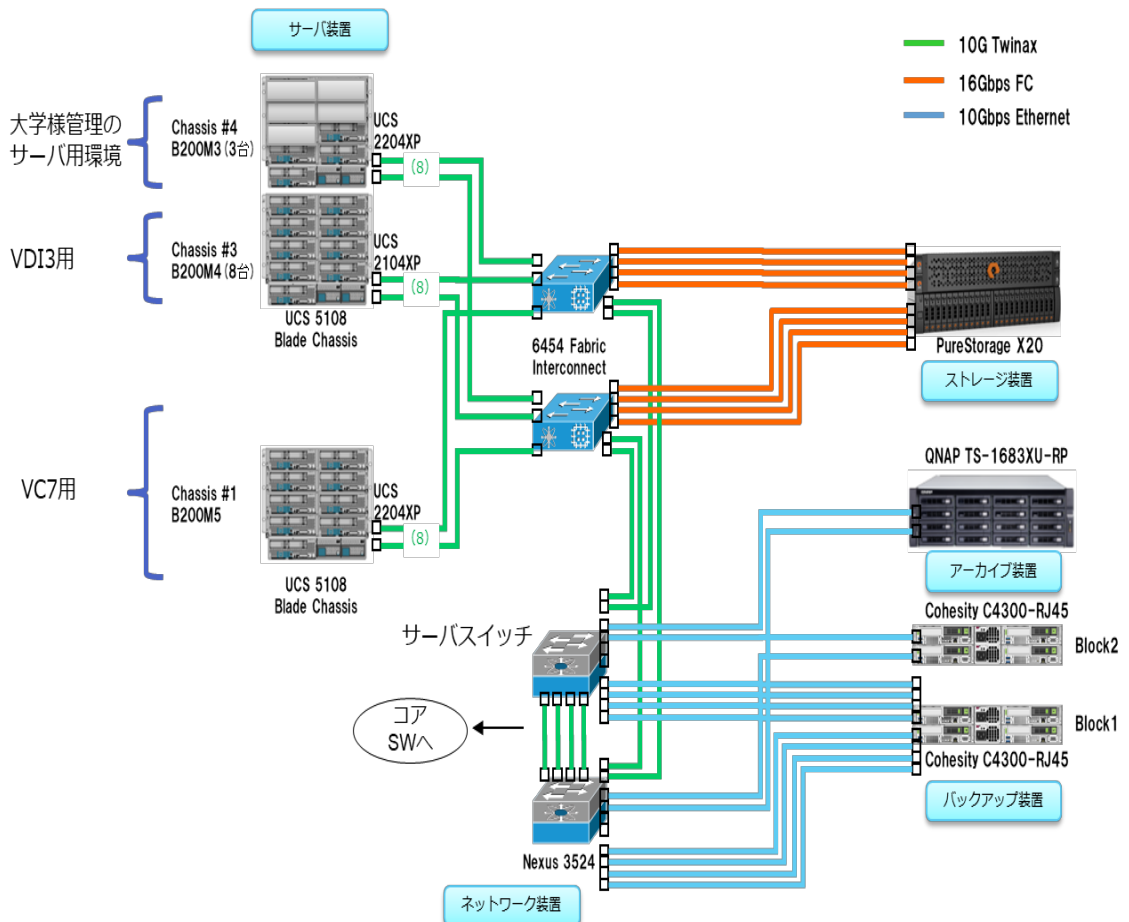


図 1 :サーバ・ストレージ 概要図